

生活科学習指導案

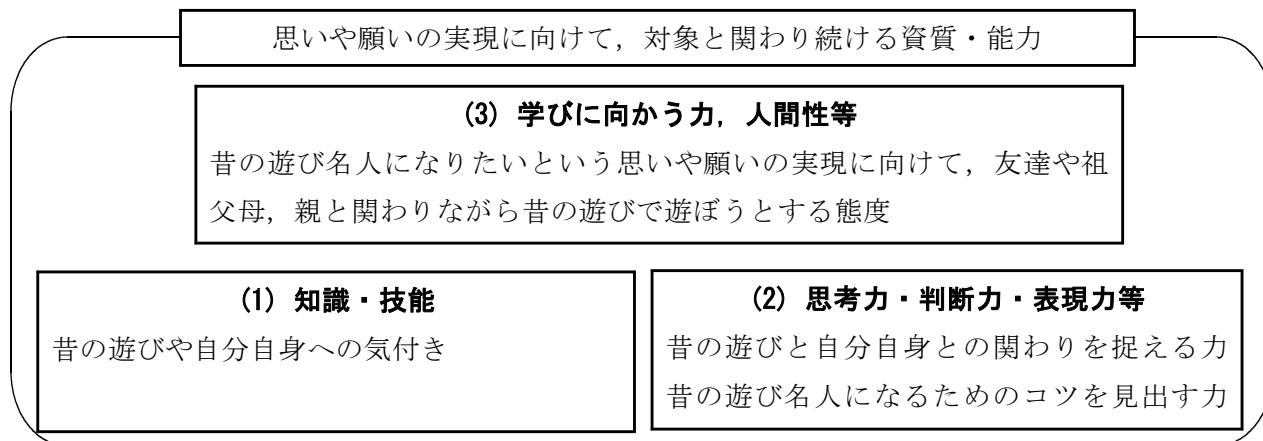
平成 年1月 日 () 第 校時 (教室・校庭) 1年 組 指導者

I 単元 たのしくあそぼうーむかしのあそびであそぼうー

II 考察

1 教材観

(1) 育成を目指す資質・能力とそれについての三つの柱



(2) 学習内容：学習指導要領上の位置付け

内容 (5) 「季節の変化と生活」

内容 (6) 「自然や物を使った遊び」

(3) 単元と学習対象の価値

(4) 今後の学習 (略)

2 児童の実態及び指導方針

III 目標及び評価規準

IV 指導計画 ※Ⅲ・Ⅳについては、指導と評価の計画参照

V 本時の学習

- ねらい 昔の遊び名人になるためのコツ (以下 ; コツ) を友達と伝え合うことを通して, 体や道具の使い方に気付き, それを用いて遊ぶことができる。
- 準備 昔の遊び名人の上達の段階を示した表, ポートフォリオ
- 展開

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
1 本時のめあてをつかむ。 ・ぼくは, けん玉をお皿に1回乗せられるようになったな。それを友達に見てもらいたいな。 ・友達は, お皿に2回乗せられるようになった	○昔の遊び名人に近付くことができたことを友達に見てもらいたいという思いがもてるように, 前時のポートフォリオに記入した「できるようになったこと」「やってよかったこと」を問いかける。

てすごいな。どういうコツでやっているのか聞いてみたいな。

2 昔の遊び名人に近付くことができたコツを友達と伝え合う。

・ぼくは、けん玉をお皿に乗せるときに、お皿の近くに玉がくるように、玉をあまり上に上げないようにしたら、乗せられるようになったよ。

・けん玉をお皿に2回乗せられるようになった友達は、けん玉を真っ直ぐ上に上げるといっていたから、真似してみたいな。

3 友達と一緒に、新たなコツで遊ぶ。

・けん玉を2回乗せられて表の中級になるように、けん玉を真っ直ぐ上に上げてみようかな。

・けん玉を真っ直ぐ上に上げるのは、なかなか難しいな、同じ昔の遊びの友達に相談してみようかな。

・けん玉を真っ直ぐ上に上げるには、手をあまり動かさなくて、膝をつかって、体全体で持ち上げるといって友達が教えてくれたからやってみたよ。

・大きく手を動かさないようにやったら、けん玉が2回お皿に乗せられるようになったよ。今度は、3回お皿に乗せられるように、ひざを曲げるというコツをやってみたいな。

4 本時のまとめをする。

・けん玉が2回もお皿に乗せられるようになって嬉しかったな。もっと上手になるように、いろいろなコツを試してみたいな。

○コツを友達と伝え合うという本時の見通しをもてるように、昔の遊びが上達した友達を見た感想と本時取り組みたいことを問いかける。

○コツを共有して、一人一人見付けたコツを生かしながら自分のコツを問い直すことができるように、コツを友達と伝え合う活動を設定し、「自分が見付けた名人になるためのコツ」という視点を基に、昔の遊び名人に近付くことができたコツを友達に伝えるよう促す。

○友達のコツのよさを取り入れながら、新たなコツを見出す意欲がもてるように、真似したいコツを見付けられた子どもを賞賛する。

○新たなコツを遊びの中で試せるように、昔の遊び名人の上達の段階を示した表を遊び場に掲示する。

○新たなコツで遊べていない子どもには、同じ遊び場にいる子どもに相談するよう助言する。

○新たなコツを自覚できるように、これまでと変わったところを問いかける。

○より名人に近付くことができるコツへと変容させることができるように、「やってよかったこと」「つぎにしてみたい名人になるためのコツ」が記述できるポートフォリオを用意する。

評価項目

試してみたい新たなコツを発言したり、記述したりしている。

< 発言・学習プリント (2) >

○達成感や成就感を得て、次の活動への期待が高められるよう、自分ができるようになったことを友だちと紹介し合う時間を確保する。

○昔の遊び名人に向けて、新たなコツに気付くことができるよう、体や道具の使い方、友だちとのかかわり方などについて発言していることを賞賛する。

指導と評価の計画（全9時間）

目標	昔の遊び名人になるためのコツ（以下；コツ）を見付けたり，試したりすることを通して，昔の遊びのおもしろさや，友達や祖父母，親と関わりながら遊ぶ楽しさに気付き，みんなで楽しく遊ぶ。			
評価規準	(1 知識・技能) 昔の遊びのおもしろさや，友達や祖父母，親と関わりながら遊ぶ楽しさ，昔の遊びが上手になった自分自身に気付いている。 (2 思考力・判断力・表現力等) 友達や祖父母，親と関わりながら，コツを見付けて遊んでいる。 (3 学びに向かう力，人間性等) 昔の遊び名人になることを目指して，友達や祖父母，親と昔の遊びで楽しく遊ぼうとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法（観点）>
であう はたらきかける	2	○昔の遊びをして，思ったことを話し合い，学習のめあてをつかむ。 ※学習のめあて「みんなと楽しく遊びながら，昔の遊び名人になろう」	○昔の遊びで楽しく遊び，昔の遊び名人になりたい思いをもてるように，地域のお年寄りや祖父母，親と一緒に交流する場を設定する。 ○子ども一人一人がめあてをもつことができるよう，「もっとどうしたいのか」を問いかける。 ○自然に他者と交流しながら様々な遊びにチャレンジすることができるよう，それぞれの場に置く道具の数を調整しておく。	◇昔の遊びで楽しく遊び，昔の遊び名人になりたい思いを伝えたり記述したりしている。 <発言・学習プリント（3）>
	1 常時	○昔の遊び名人になるための目標を話し合う。 ○家族と昔の遊びについて話し合ったり，遊んだりする。（冬季休業中を含む）	○昔の遊び名人になるための目標を明確にできるように，昔の遊びの種類ごとに，目標となる上達の段階を示した表を提示する。 ○身体活動，交流，遊ぶ道具などの対象への気付きについて振り返りの視点を提示する。	◇昔の遊び名人になるための目標について，発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント（3）>
	2	○昔の遊び名人を目指して，友達と一緒に遊ぶ。	○昔の遊びのおもしろさに気付くことができるように，昔の遊びの種類ごとに友達と遊ぶ場を設定する。 ○次の活動への期待感が高まるよう，友だちと交流する時間を確保する。	◇昔の遊びのおもしろさについて，友達に伝えたり，記述したりしている。 <行動・学習プリント（1）>
	1	○昔の遊び名人に向けて，これまでに昔の遊びで遊んできたことを振り返る。（本時）	○試してみたい新たなコツを見付けることができるように，自分が見付けたコツを友達と伝え合う活動を設定する。	◇試してみたい新たなコツを発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント（2）>
	1	○昔の遊び名人を目指して，新たなコツを試しながら友達と一緒に遊ぶ。	○見付けた新たなコツで遊ぶことができるように，自分や友達が見付けた新たなコツを遊ぶ場に掲示する。	◇新たなコツで，友達と遊んでいる。 <行動（2）>
まとめ かす	2	○昔の遊び名人大会をし，自分が上手になった昔の遊びや楽しかった昔の遊びについて振り返り，これからの生活の中で，やってみたいことを話し合う。	○昔の遊びが上手になった自分自身に気付くことができるように，できるようになったことや誰と一緒に遊んだのかなどをお家の人に伝えるように絵や文章でまとめる活動を設定する。	◇昔の遊びが上手になった自分自身について絵や文で記述している。 <学習プリント（1）>